

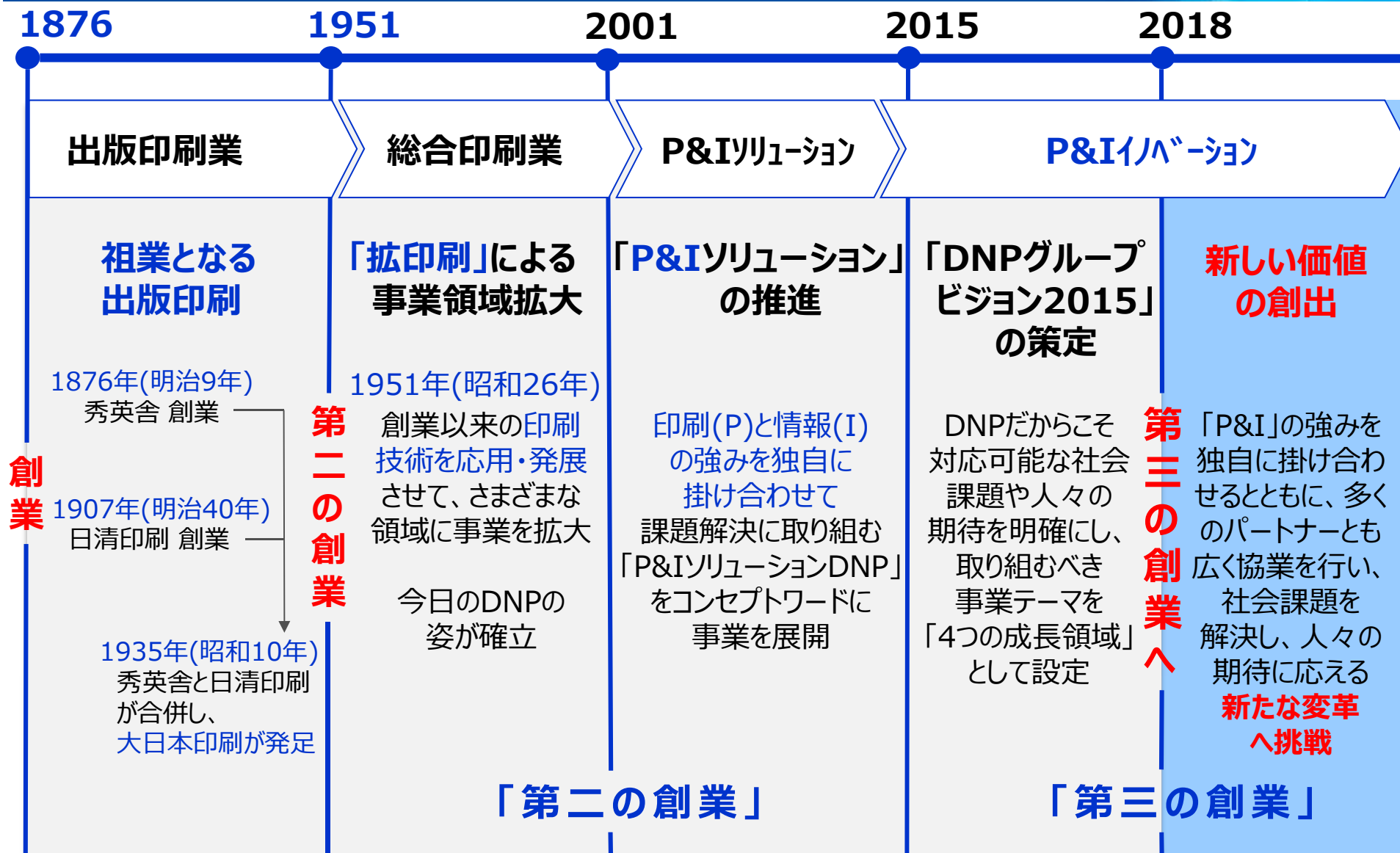
# 2019年度(2020年3月期) 第2四半期 決算説明資料

2019年11月27日(水)  
大日本印刷株式会社

**DNP**

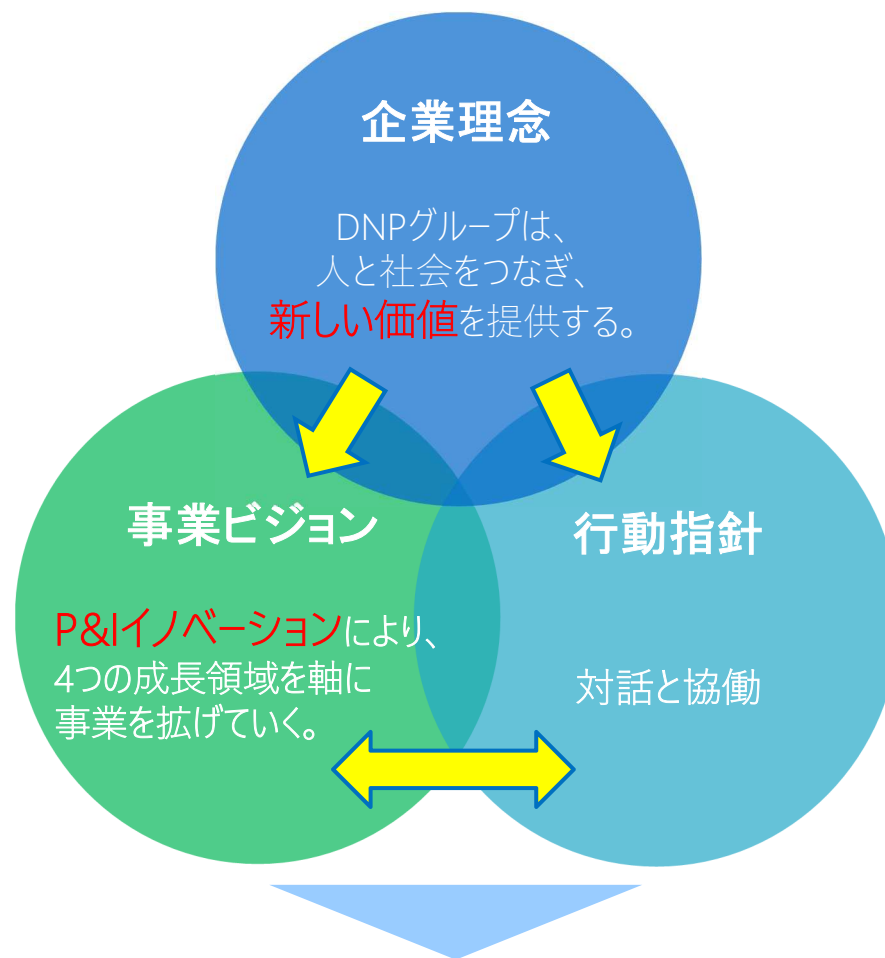
© 2019 Dai Nippon Printing Co., Ltd. All Rights Reserved.

# 「P&Iイノベーション」を推進し「新しい価値」を創出し続けていく



「P&Iイノベーション」を推進し「新しい価値」を創出し続けていく

## DNPグループビジョン 2015



# 「P&Iイノベーション」を推進し「新しい価値」を創出し続けていく

## DNPグループビジョン 4つの成長領域



### 知とコミュニケーション

世界の人々が安全・安心に  
コミュニケーションの機会を拡大し、  
知を交換・継承できる未来



### 住まいとモビリティ

世界の人々が暮らし、  
移動するあらゆる生活空間が  
安全・安心に保たれている未来



### 食とヘルスケア

世界の人々の生命への不安が解消  
され、生涯にわたって、安全・安心で  
質の高い生活を全うできる未来



### 環境とエネルギー

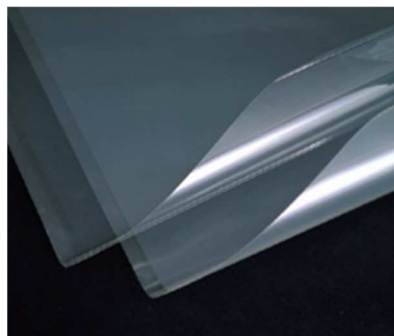
地球環境への負荷を減らし、  
世界の人々と地球が共生できる  
持続可能な未来

# 「P&Iイノベーション」を推進し「新しい価値」を創出し続けていく

## ● 世界シェアNo.1



リチウムイオン電池用  
バッテリーパウチ



ディスプレイ用  
光学フィルム



有機ELディスプレイ製造用メタルマスク  
(拡大画像)



写真プリント用  
昇華型熱転写メディア

## ● 国内シェアNo.1



ICカード  
(OSの開発等により銀行系・金融系  
ICカードなど国内トップシェア)



PETボトル用無菌充填システム



住宅用内装材 (床材)

# 「P&Iイノベーション」を推進し「新しい価値」を創出し続けていく

## ICカード



OSの開発等により  
銀行系・金融系  
ICカードなど国内  
トップシェア



## 決済プラットフォーム

- 多様化する決済サービスに対応
- 国際的なセキュリティ基準に準拠
- デジタルマーケティング機能を提供

## BPO

(Business Process Outsourcing)

### 信頼性

- 国内外16拠点、24時間の稼働体制
- 約2,500社からの受託実績
- 高度な情報セキュリティシステム

### 高品質

- 約300人のプロによる業務設計
- AIやRPAなどの先端技術の導入

### 対応力

- 業務内容に応じた柔軟な対応
- 災害時のBCP対応

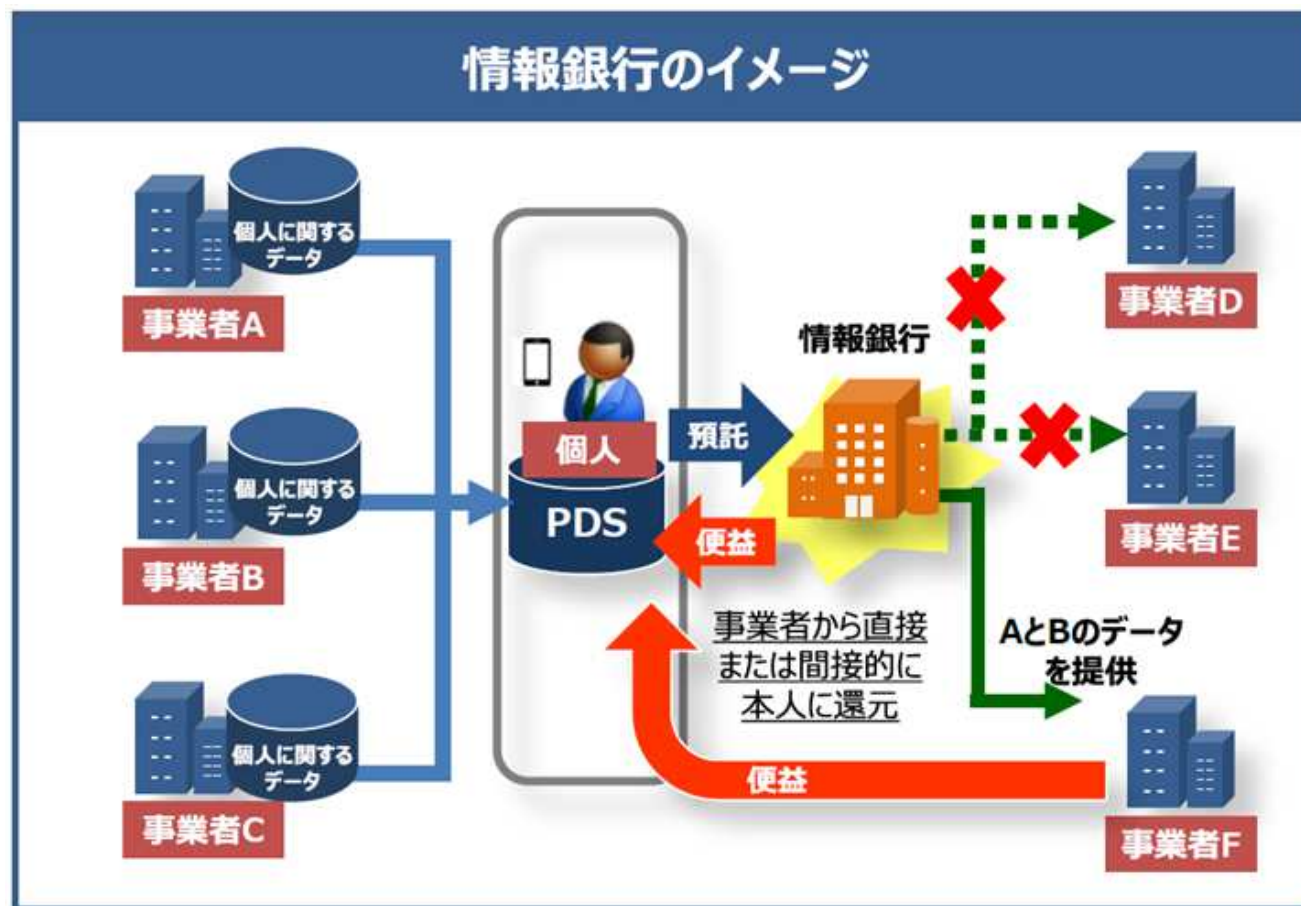


札幌SC  
仙台SC  
蕨工場  
高島平SC  
高田SC  
榎町SC  
すみだSC  
名古屋SC  
なんばSC  
高槻SC  
福岡SC  
黒崎SC  
宜野湾SC  
ハノイ(ベトナム)

※SC=ソリューション・センター



# 「P&Iイノベーション」を推進し「新しい価値」を創出し続けていく



「AI、IoT時代におけるデータ活用ワーキンググループ 中間とりまとめの概要」(内閣官房IT総合戦略室)より

「P&Iイノベーション」を推進し「新しい価値」を創出し続けていく

## □ 事業構造の改革

## □ 経営の改革

- 既存資産の除売却と新規資産の取得
- 社債発行・政策保有株式売却・自己株式取得
- 取締役会改革



## ■ 目次

# 1. 2019年度 第2四半期 連結決算の概況

## 2. 2019年度通期 連結業績予想

## 3. 「第三の創業」の実現に向けて

# 1. 2019年度第2四半期 連結決算の概況：業績概要

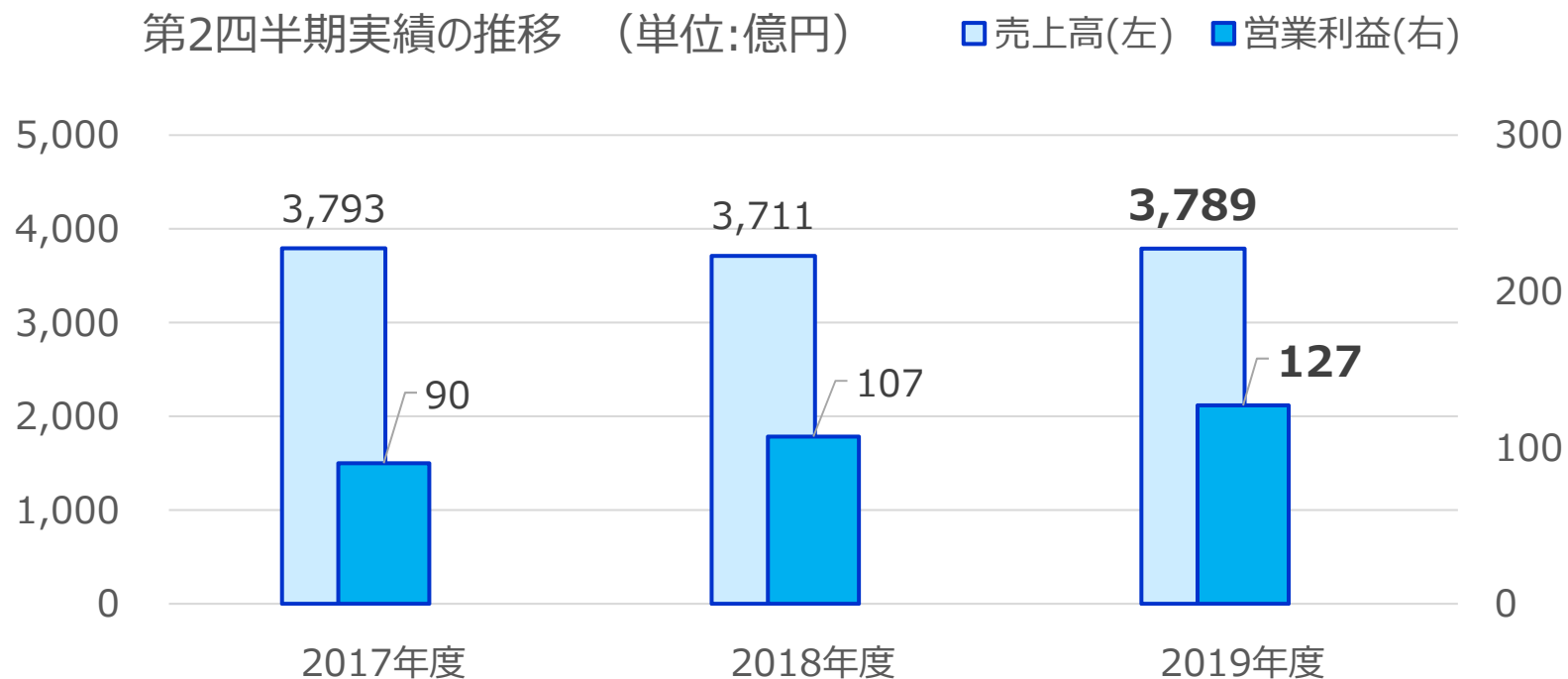
(単位：億円)

	2018年度 第2四半期	2019年度 第2四半期	前年同期比
売上高	6,855	<b>6,941</b>	+1.3%
営業利益	228	<b>256</b>	+12.5%
経常利益	258	<b>294</b>	+13.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	169	<b>754</b>	+345.9%
設備投資額	207	<b>221</b>	+6.8%
減価償却費	290	<b>267</b>	▲8.2%
研究開発費	170	<b>170</b>	▲0.2%

- 売上・利益とも期初計画に対して順調に進捗。
- 前年同期比でも、売上は微増ながら、事業ポートフォリオの転換により製品ミックスが改善し、増収増益を達成。

# 1. 2019年度第2四半期 連結決算の概況：セグメント別

## 【情報コミュニケーション部門】

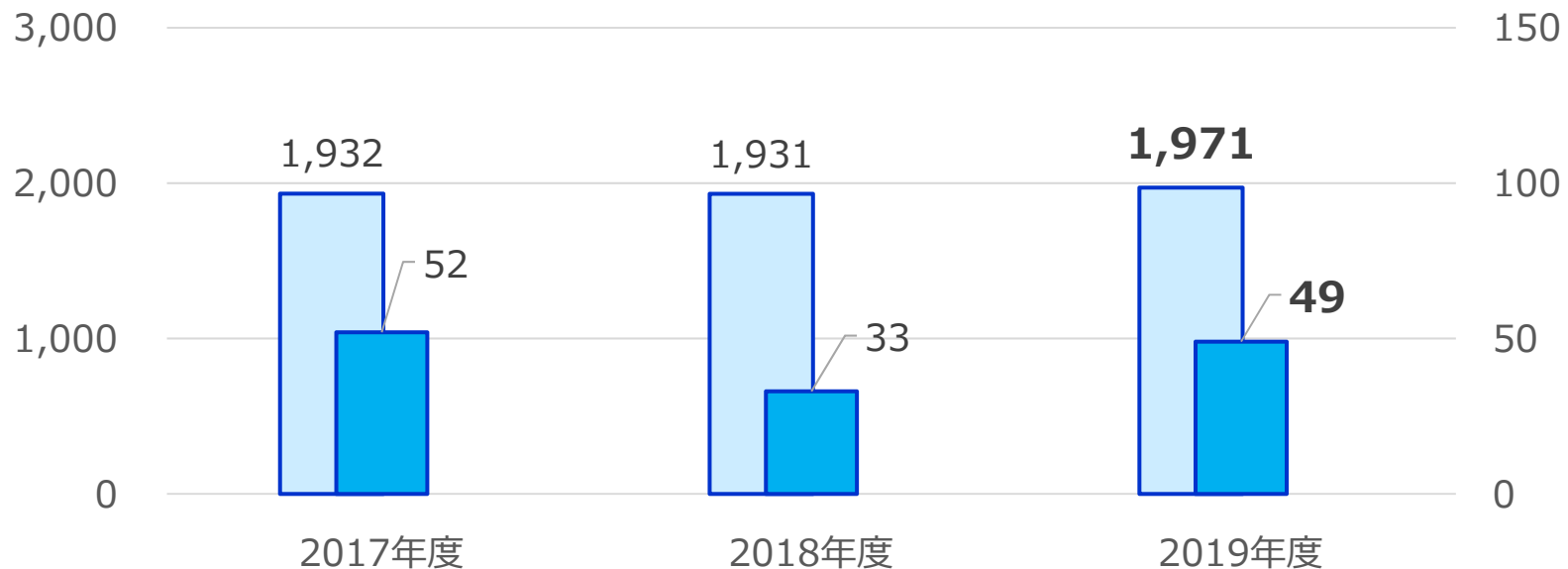


出版関連事業は減収減益となったほか、印刷用紙の値上がりなどのマイナス要因もあったが、重点事業のICカード、BPO、写真プリント用昇華型熱転写メディアが順調に規模を拡大した結果、増収増益となった。

# 1. 2019年度第2四半期 連結決算の概況：セグメント別

## 【生活・産業部門】

第2四半期実績の推移（単位:億円） □売上高(左) ■営業利益(右)

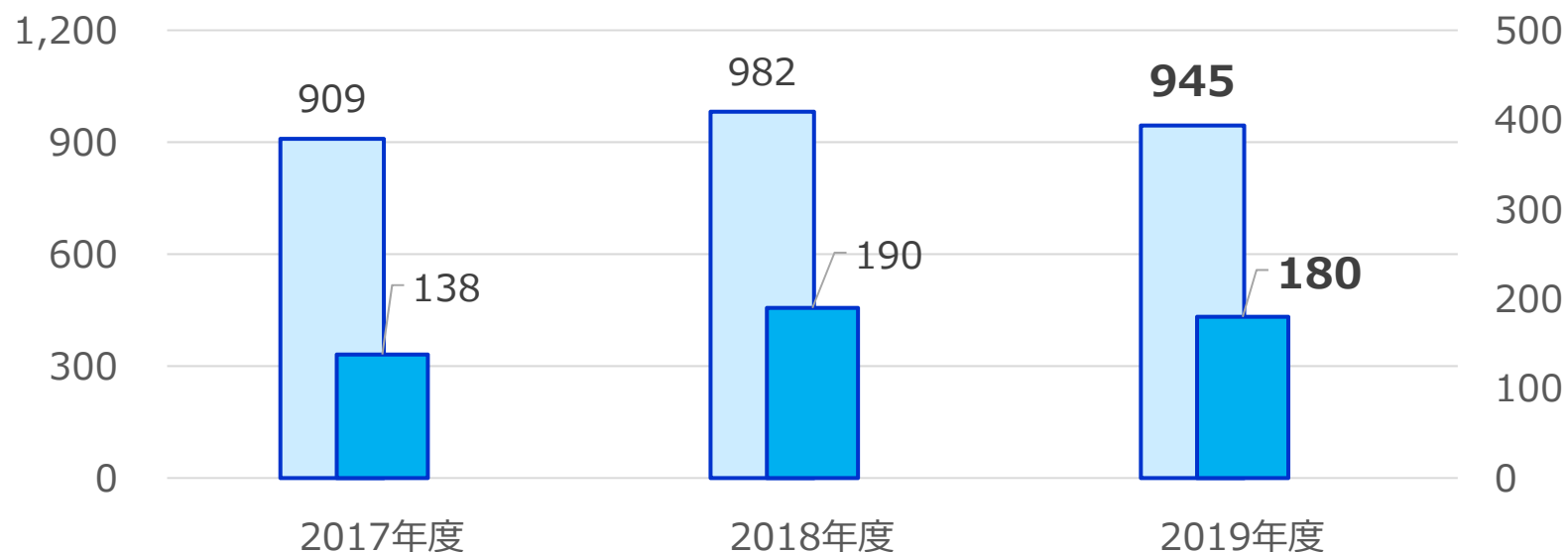


ペットボトル用無菌充填システムが増加した包装関連と、車載用途のリチウムイオン電池用バッテリーパウチや太陽電池用部材が好調だった産業資材関連が増収となったことに加え、事業構造改革の成果や原材料値上がりに対する価格転嫁が進み、増益となった。

# 1. 2019年度第2四半期 連結決算の概況：セグメント別

## 【エレクトロニクス部門】

第2四半期実績の推移 (単位:億円) □売上高(左) ■営業利益(右)

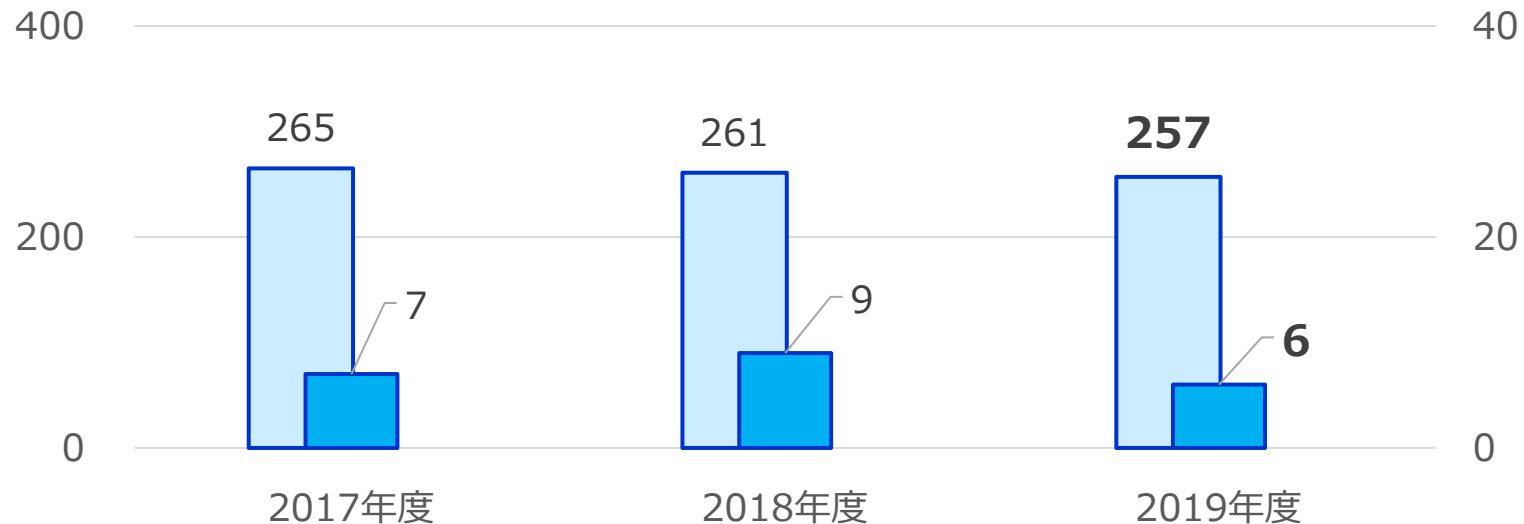


中小型向け有機ELディスプレイの製造に使用するメタルマスクが好調だったほか、光学フィルム関連も用途が拡大し前年を上回ったものの、液晶ディスプレイ用カラーフィルタが減少したことや半導体市況の悪化により半導体用フォトマスクが減少した結果、減収減益となった。

# 1. 2019年度第2四半期 連結決算の概況：セグメント別

## 【清涼飲料部門】

第2四半期実績の推移 (単位:億円) □売上高(左) ■営業利益(右)

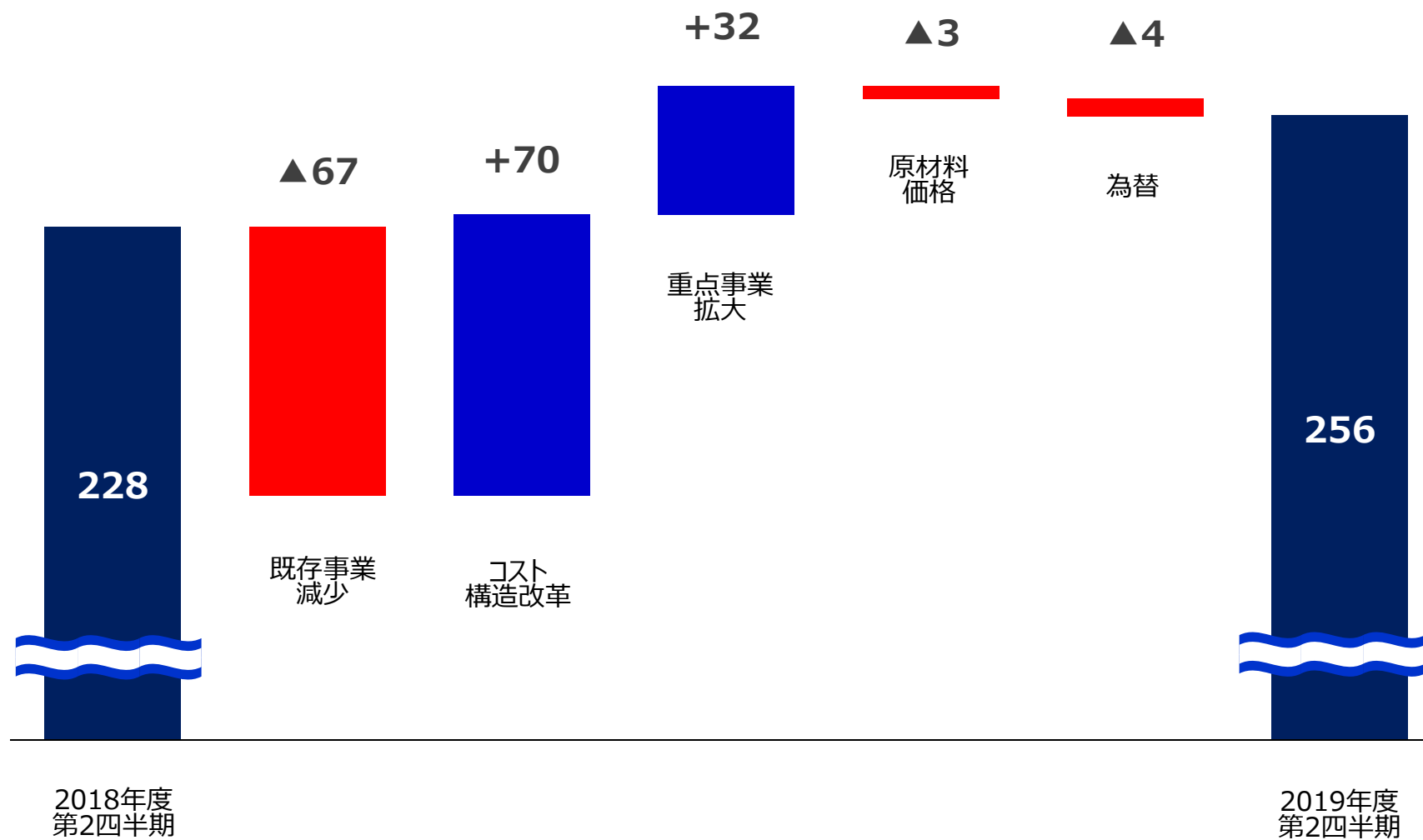


新商品の発売や積極的な販促活動により、既存市場におけるシェア拡大と新規顧客獲得に努めたものの、全般的に販売数量が減少し、販売促進費も増加したため、減収減益となった。



# 1. 2019年度第2四半期 連結決算の概況：営業利益 増減益分析

(単位：億円)



## ■ 目次

**1. 2019年度第2四半期 連結決算の概要**

**2. 2019年度通期 連結業績予想**

**3. 「第三の創業」の実現に向けて**

## 2. 2019年度通期 連結業績予想

(単位：億円)

	2018年度 実績	2019年度 予想	前年同期比
売上高	14,015	<b>14,160</b>	+1.0%
営業利益	498	<b>510</b>	+2.2%
経常利益	582	<b>585</b>	+0.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲356	<b>510</b>	—
ROE	▲3.48%	<b>5.0%</b>	—
設備投資額	411	<b>600</b>	+46.0%
減価償却費	590	<b>590</b>	横ばい
研究開発費	337	<b>340</b>	+0.6%

- 重点事業の強化、事業の選択と集中による強いポートフォリオの構築を推進。
- 事業構造改革にともない、下期に特別損失の計上を見込む。
- 【配当予想】 年間配当：64円/1株(中間配当・期末配当：32円)

## 2. 2019年度通期 連結業績予想：セグメント別

(単位：億円)

		2017年度 実績	2018年度 実績	2019年度 予想	前年 同期比
情報コミュニケーション	売上高	7,786	7,623	<b>7,760</b>	+1.8%
	営業利益	217	248	<b>255</b>	+2.6%
生活・産業	売上高	3,943	3,971	<b>4,025</b>	+1.3%
	営業利益	121	83	<b>105</b>	+25.3%
エレクトロニクス	売上高	1,887	1,924	<b>1,865</b>	▲ 3.1%
	営業利益	341	369	<b>360</b>	▲ 2.5%
清涼飲料	売上高	560	559	<b>570</b>	+1.8%
	営業利益	22	21	<b>20</b>	▲ 5.7%
調整額	売上高	▲ 55	▲ 64	<b>▲ 60</b>	
	営業利益	▲ 238	▲ 223	<b>▲ 230</b>	
合 計	売上高	14,122	14,015	<b>14,160</b>	+1.0%
	営業利益	463	498	<b>510</b>	+2.2%

## ■ 目次

**1. 2019年度第2四半期 連結決算の概要**

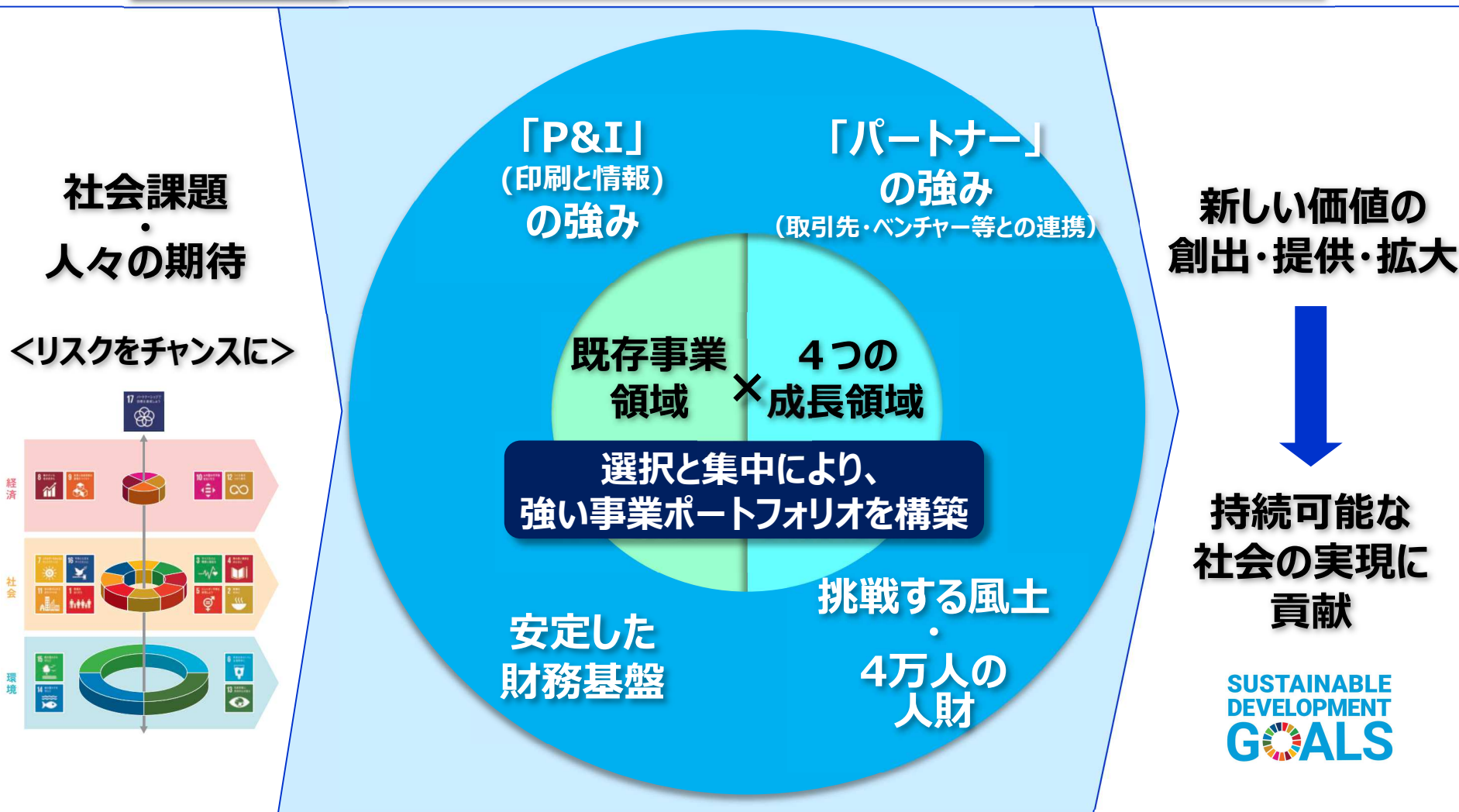
**2. 2019年度通期 連結業績予想**

**3. 「第三の創業」の実現に向けて**

### 3. 「第三の創業」の実現に向けて

企業理念

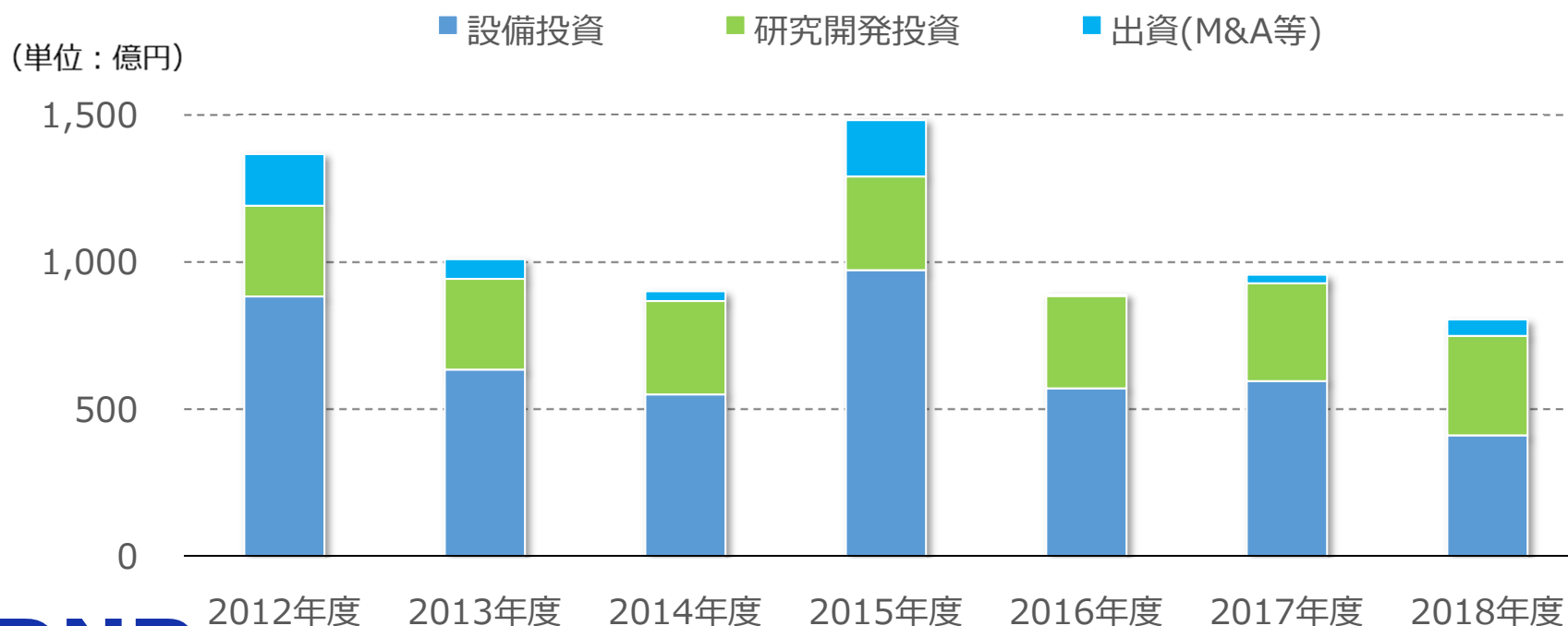
DNPグループは、人と社会をつなぎ、新しい価値を提供する。





### 3. 「第三の創業」の実現に向けて

- ・ DNPでは、これまで設備投資、研究開発投資、M&A投資等に、毎年約1,000億円を投資してきた。
- ・ 今後も同様の投資を続け、競争力の高い製品・サービスを創出していく。

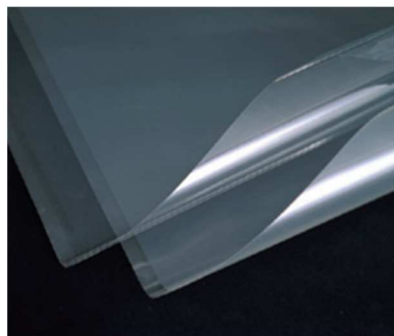


### 3. 「第三の創業」の実現に向けて

#### ● 世界シェアNo.1



リチウムイオン電池用  
バッテリーパウチ



ディスプレイ用  
光学フィルム



有機ELディスプレイ製造用メタルマスク  
(拡大画像)



写真プリント用  
昇華型熱転写メディア

#### ● 国内シェアNo.1



ICカード  
(OSの開発等により銀行系・金融系  
ICカードなど国内トップシェア)



PETボトル用無菌充填システム



住宅用内装材 (床材)

### 3. 「第三の創業」の実現に向けて

#### 「第三の創業」

社内外の力を掛け合わせて、社会課題を解決し、  
人々の期待に応える新しい価値を創出

① 成長領域を中心とした価値の創出

② グローバル市場に向けた価値の提供

③ あらゆる構造改革による価値の拡大

### 3. 「第三の創業」の実現に向けて

#### ① 成長領域を中心とした価値の創出

#### DNPグループビジョン

#### 4つの成長領域



#### 知とコミュニケーション

世界の人々が安全・安心に  
コミュニケーションの機会を拡大し、  
知を交換・継承できる未来



#### 住まいとモビリティ

世界の人々が暮らし、  
移動するあらゆる生活空間が  
安全・安心に保たれている未来



#### 食とヘルスケア

世界の人々の生命への不安が解消  
され、生涯にわたって、安全・安心で  
質の高い生活を全うできる未来



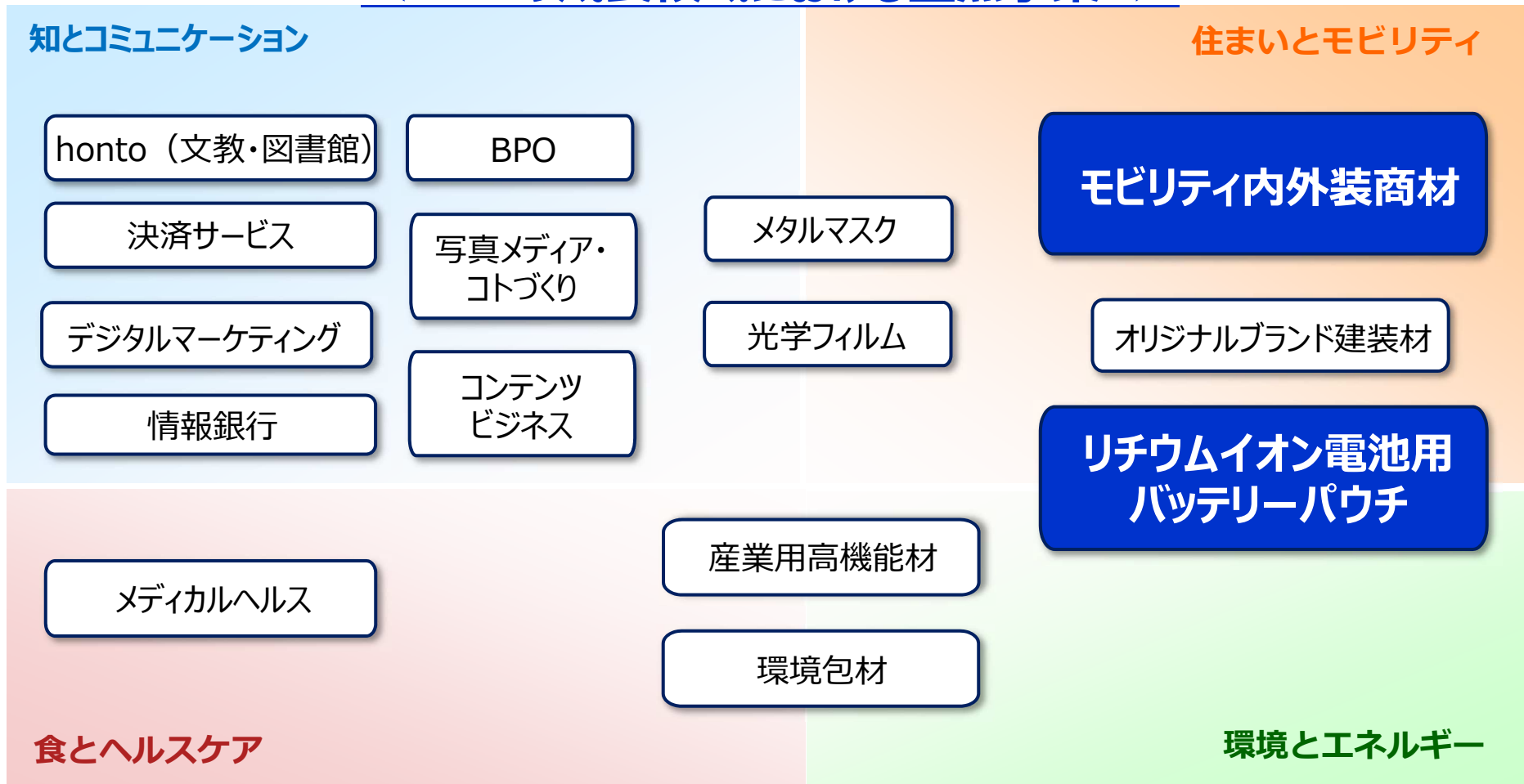
#### 環境とエネルギー

地球環境への負荷を減らし、  
世界の人々と地球が共生できる  
持続可能な未来

### 3. 「第三の創業」の実現に向けて

#### ① 成長領域を中心とした価値の創出

#### < 4つの成長領域における重点事業 >



### 3. 「第三の創業」の実現に向けて

#### ① 成長領域を中心とした価値の創出

#### < 次世代のモビリティ社会に向けて >

##### 1. 社会課題の認識～ターゲット市場

###### ▶ 次世代モビリティ関連事業

**6.4**  
兆円

移動弱者のいない  
スマートモビリティ  
社会の実現

2030年の国内MaaS市場  
(矢野経済研究所)

###### ▶ 環境関連事業

**4.3**兆  
米ドル

環境負荷低減と  
持続可能性拡大に  
寄与する価値の提供

エネルギーと原材料の  
経済システムを通じたビジネス価値  
(The Business & Sustainable Development Commission)

###### ▶ シェアリング・エコミー関連事業

**1,386**  
億円

“所有から利用へ”  
という社会変化  
をリード

2022年度の日本の  
シェアリング・エコミー市場  
(矢野経済研究所)

##### 2. DNPの製品・サービス

- リチウムイオン電池用バッテリーパウチ
- 電気自動車向け曲面樹脂ガラス
- 加飾フィルム・パネル
- セキュリティソリューション など

##### 3. 社会課題を解決する価値

- 温室効果ガス排出量の削減、大気汚染の軽減
- 快適な移動、移動時間の有効活用によるQOL (Quality of Life) の向上 など



## 3. 「第三の創業」の実現に向けて

### ① 成長領域を中心とした価値の創出

#### < 次世代のモビリティ社会に向けて >

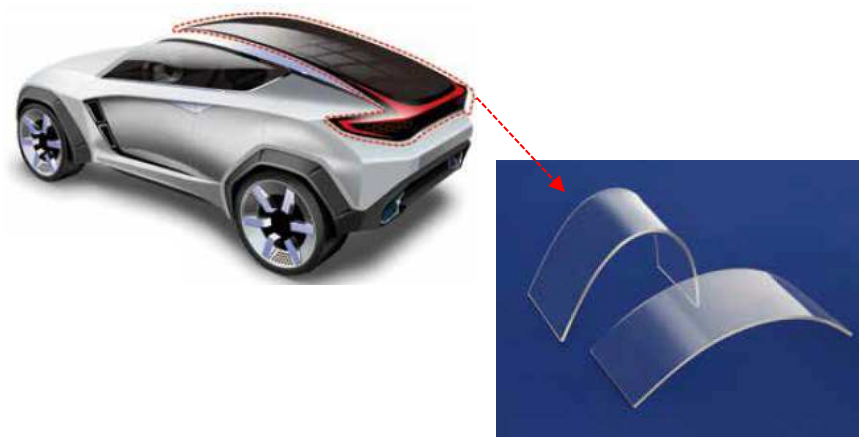
#### リチウムイオン電池用バッテリーパウチ

- ・ 精密塗工を駆使し、電池の薄型化・軽量化に貢献。
- ・ 耐電解液ラミネート強度に優れ、長期信頼性・保存性を確保。
- ・ 金属缶より軽量で、形状自由度が高い。
- ・ 次世代電池である全固体電池への展開のほか、電池以外の用途にも展開可能。



#### 電気自動車向け曲面樹脂ガラス

- ・ ガラスよりも軽く、加工性や断熱性に優れていることから、クルマの軽量化、空間設計の自由度向上に貢献。
- ・ 建設機械向け等への提供実績をベースに、クルマのリアウィンドウなどに最適な曲面樹脂ガラスを開発。さらに、曲面樹脂ガラスでの車体の一体成形にも取組み、部品的大幅削減への貢献を目指す。



## 3. 「第三の創業」の実現に向けて

### ① 成長領域を中心とした価値の創出

#### < 次世代のモビリティ社会に向けて >

#### 加飾フィルム・パネル

- ・ パーソナルな空間である自動車の意匠性と機能性の自由度を高める加飾フィルムを展開。
- ・ 今後の自動運転の進展も見据え、増加する情報表示用の機器がデザイン性を損なうことがないように、快適な空間を実現する次世代加飾パネルも開発中。



#### セキュリティソリューション

- ・ ICカード事業等で培った個人を特定する認証技術や、安全にデータをやり取りする暗号化技術をもとに、スマートフォンアプリで電子鍵（デジタルキー）を提供し、鍵の開閉を行えるサービスのプラットフォームを開発、提供。



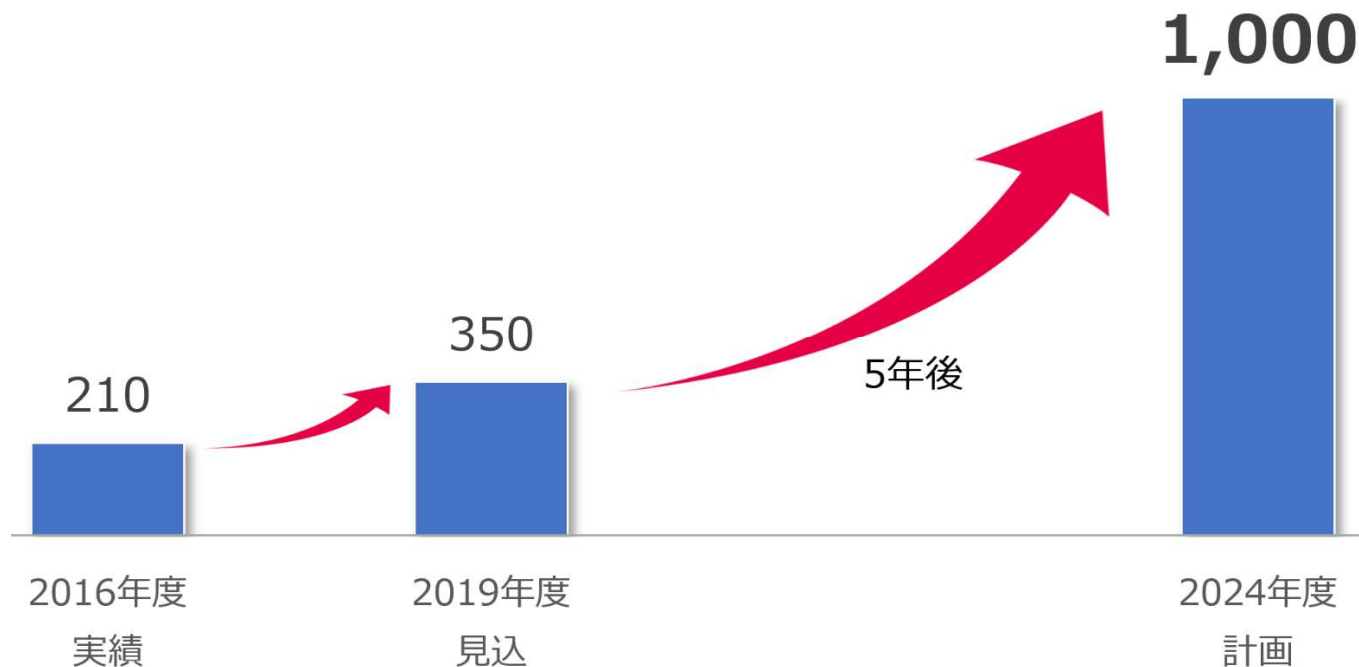
### 3. 「第三の創業」の実現に向けて

#### ① 成長領域を中心とした価値の創出

#### < 次世代のモビリティ社会に向けて >

人と地球にやさしい次世代のモビリティ社会の実現  
に向けて、「新しい価値」を提供

#### モビリティ領域 売上計画 (単位:億円)



### 3. 「第三の創業」の実現に向けて

#### ② グローバル市場に向けた価値の提供

	アフリカ	欧州	アジア	北米	南米
情報 コミュニケーション 部門	写真プリント等のイメージングコミュニケーション事業				
生活・産業 部門	ICカード事業 BPO事業				
	環境対応パッケージ、高機能バリアフィルム等				
	太陽電池用部材、 リチウムイオン電池用バッテリーパウチ				
エレクトロニクス 部門	生活空間事業（住宅&非住宅、自動車向け内外装など）				
	半導体フォトマスク事業				
			ディスプレイ 関連製品事業		

## 3. 「第三の創業」の実現に向けて

### ③ あらゆる構造改革による価値の拡大

#### 環境変化に迅速に対応する構造改革の推進

#### □ 強い事業ポートフォリオの構築

- ・ 事業の選択と集中により、収益性の改善を図る。
- ・ 収益性が高く、成長が期待できる重点事業には積極的に経営資源を投入する。

#### □ 製造部門の効率化

- ・ 情報コミュニケーション部門の紙メディア製造部門を統括する組織を設け、競争力の強化を図る。
- ・ DNPのコア技術であるコンバーティング技術（※）を全社横断で一元管理する組織を設け、新しい技術・新たな高付加価値製品の開発と、各工場間での生産融通や統廃合により、利益の最大化を図る。

※ コンバーティング技術

紙だけでなくプラスチック・フィルム・金属・ガラスなどの基材表面に、単層または多層で様々な特性を持った材料の塗布膜を均質・均一に形成する技術。光学特性・バリア性・耐熱性など、多様な機能を付与できるため、包装、建材のほか、写真プリント用部材や電池用部材、光学フィルムに応用している。

## 3. 「第三の創業」の実現に向けて

### 資本政策に関する基本方針

#### □ 成長領域への経営資源の投入

- ・ 社会課題を解決し、人々の期待に応える新しい価値の創出のため、成長領域を中心とした事業へ集中的に、研究開発投資、設備投資、戦略的提携やM & Aの投資を行うとともに、それらを支える人財投資に経営資源を投入。

#### □ 資本効率の向上と安定した財務基盤

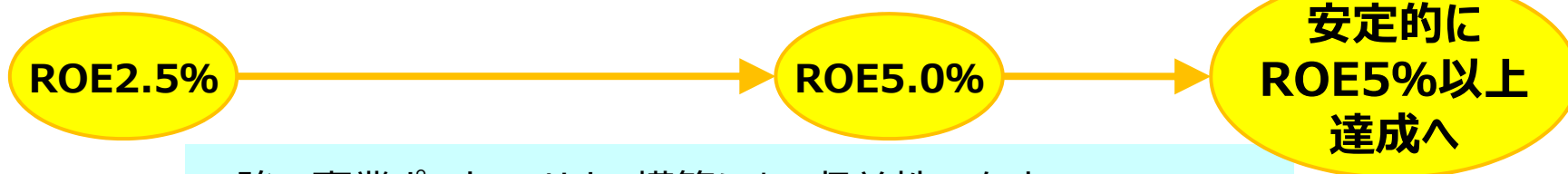
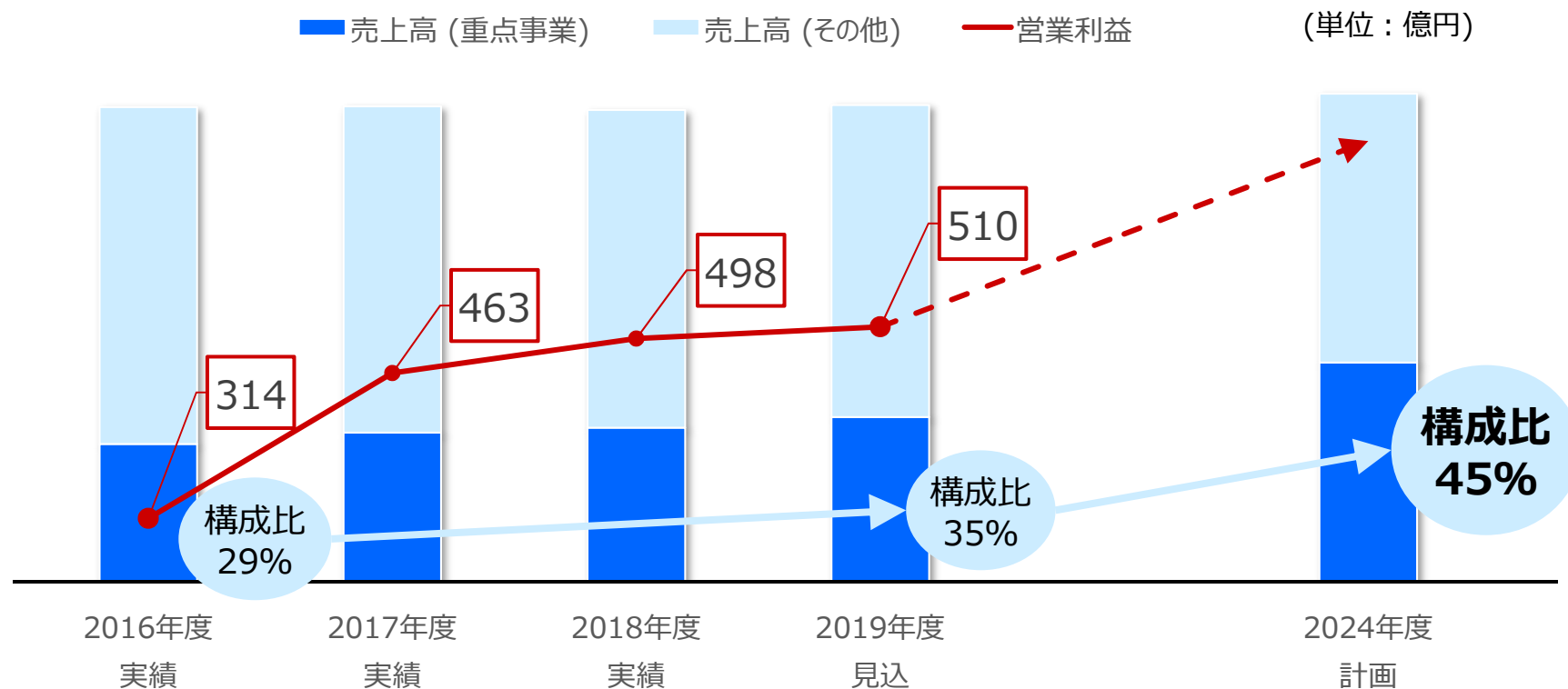
- ・ 自己資金に加え、他人資本の活用による成長投資資金の調達。
- ・ 事業の選択と集中による収益性の改善、並びに遊休資産の圧縮を主体とする資本効率の向上。
- ・ 内部留保による安定した財務基盤。

#### □ 株主還元

- ・ 利益配分については、安定配当を基本とし、業績・配当性向等を勘案し実行。

### 3. 「第三の創業」の実現に向けて

#### 中期的な経営目標



- ・ 強い事業ポートフォリオの構築による収益性の向上
- ・ 事業の選択と集中、遊休資産の整理を含めた資本効率の向上

未来のあたりまえをつくる。

**DNP**

## 免責事項

本資料における業績予想及び中期的な経営目標等、将来予想に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、実際の業績は、様々な要因の変化により、これらの将来予想とは異なることがあることをご承知おきください。